

未就学児部門 金賞 水谷 椰葵さん

—第7回あいの土山ピアノコンクール、チャレンジコース、未就学児部門の金賞受賞、おめでとうございます。金賞に入賞されたお気持ちを聞かせてください。

嬉しかった！

—本番はどうでしたか？緊張はされましたか？

何も緊張しなかった！

—土山のコンクールはどうでしたか？

ピアノを上手に弾けたのが嬉しかった。

—土山の町の様子やホールはいかがでしたか？

ピアノの旗がいっぱいあって嬉しかった。

—今後もコンクールに挑戦しようと思いますか？

うん。

—毎日どれくらい練習していますか？どういうスケジュールで練習していますか？

いっぱい。何回もやってる。朝と夕方。

—水谷椰葵さんにとって、ピアノとはどういうものですか？

すごくきれいな音で、好き。

—「大きくなったら、こんな風になりたいな」というのはありますか？

大きくなったらプリンセスになりたい！



小学1～3年生部門 金賞 ・ 甲賀市長賞 岡 ほの香さん

—第7回あいの土山ピアノコンクール、チャレンジコース、小学1～3年生部門の金賞、また甲賀市長賞の受賞、おめでとうございます。金賞に入賞されたお気持ちを聞かせてください。

とても嬉しいです。最後まで頑張って良かったなって思いました。

—本番はどうでしたか？緊張はされましたか？ピアノはどうでしたか？

舞台袖ではめっちゃ緊張して固まっていたけど、弾き始めるととても楽しかったです。
ピアノも弾きやすかったです。

—土山の町の様子やホールはいかがでしたか？

ホールはいっぱい部屋があって、すごかった。音響が良いホールでびっくりしました。
土山のお茶がとても美味しかったです。

—今後もコンクールに挑戦しようと思いますか？

はい。色々なコンクールに挑戦したいです。

—毎日どれくらい練習していますか？どういうスケジュールで練習していますか？

平日は45分。休日は1時間30分。
休日は朝食の後に1時間して、午後からは夕食の後に30分してます。

—岡ほの香さんにとって、ピアノとはどういうものですか？

友達。毎日一緒に弾いてるから。一緒だから家族っていうか…。

—将来の夢はありますか？

薬剤師です。ピアノは趣味で楽しく弾きたいです。



小学4～6年生部門 金賞 ・ NHK 大津放送局長賞 古屋 聡馬さん

—第7回あいの土山ピアノコンクール、チャレンジコース、小学4～6年生部門の金賞受賞、また NHK 大津放送局長賞の受賞、おめでとうございます。金賞に入賞されたお気持ちを聞かせてください。

練習中は 1 回に 1 回ぐらいミスっちゃって、リベンジならないかなって思っていたんですけど、結果発表を聞いて金賞にはすごく驚いています。

—本番はどうでしたか？緊張はされましたか？

舞台、舞台裏でもすごく緊張してきて、いざ本番ってなった時に、もう足がすごくブルブル震えだして、手までなんか上手く動かせなかったから、上手くできるかなって不安でした。

—ピアノはどうでしたか？

いつもヤマハで演奏していて今日はスタインウェイだったから、いつもと慣れない鍵盤の硬さだったんですけど、今まで練習してきたことをこのスタインウェイに全部かけて、今この結果が出ているのすごく嬉しいです。

—土山のコンクールはどうでしたか？

昨年にも 1 回出場して、すごく悔しくて来年こそ頑張ろうっていう気持ちで今日リベンジしにきて金賞とれて！ リベンジできて良かった。

—土山の町の様子やホールはいかがでしたか？

ここに来る時も、あたり一面の茶畑だったり田んぼだったり、すごい大自然を感じるような場所で、その中でも今ここにいる大きいホールで演奏できたっていうことがすごく嬉しいです。

—今後もコンクールに挑戦しようと思いますか？

はい。

これからもたくさん練習して行って、コンクールとかでたくさん賞を獲得、受賞して、これから中学生、高校生になってもピアノを離れずに頑張っていきたいと思っています。

—毎日どれくらい練習していますか？

毎日 1 時間、2 時間とかこつこつ練習をしてきて、土曜日はピアノレッスンに行って、先生の的確な指導に従ったりして今ここまできているので、先生にも感謝ですね。
サポートしてくれたお母さんにも感謝ですね。

—どういうスケジュールで練習していますか？

夏休みの間は午前。午前中は、ほぼほぼずっとピアノをしていて、自分が納得したり…。
その、肩、肩に力が入ってくるんですよ。だから肩に力が入ったら音楽を聴いたりゆっくりした練習したりと、工夫して練習してきました。

—古屋聡馬さんにとって、ピアノとはどういうものですか？

僕にとってピアノは青春じゃないですかね。ちっちゃい頃からもうエレクトーンとかそういうのでいっぱい練習してきて、小学生からもう 5 年間、今 6 年になってもどんどん、中学生でもやり続けていきたいので、小さいうちにこの楽しい時間を味わっておきたいなと思っています。

—将来の夢はありますか？

どんどんピアノを練習して行って、目標ですけど、今度は次の世代の子どもにもピアノを教えられたらいいかなと思っています。



中学生以上部門 金賞 ・ 滋賀県教育長賞 吉川 怜那さん

—第7回あいの土山ピアノコンクール・チャレンジコース、中学生以上部門の金賞、また滋賀県教育長賞の受賞、おめでとうございます。

金賞に入賞されたお気持ちを聞かせてください。

ありがとうございます。正直まだ状況が受け入れられていないんですが、とても嬉しいです。

—本番はどうでしたか？緊張はされましたか？ピアノはどうでしたか？

すごく緊張して、体が震えました。ちょっと間違えたところがあったんですけど、今までの全力を出せたと思います。またこのピアノで弾いてみたいと思いました。

—土山のコンクールはどうでしたか？

スタッフの方々がとても優しくて、楽しかったです。

—土山の町の様子やホールはいかがでしたか？

とても自然がきれいで、落ち着く場所だなと思いました。

—今後もコンクールに挑戦しようと思いますか？

はい、思います。挑戦していきたいです。

—毎日どれくらい練習していますか？

普段は1時間ぐらいです。コンクール前は2、3時間しています。

—どういうスケジュールで練習していますか？

いつもは、夕食後に1時間ぐらい弾いています。

コンクール前は、朝1時間、夕方1時間、寝る前に1時間ぐらいです。

—吉川怜那さんにとって、ピアノとはどういうものですか？

自分の気持ち、思いを正直に表現できる存在です。

—将来の夢はありますか？

今はまだ具体的に決めていませんが、音楽関係の仕事をしたいなと思っています。

